

石垣市民会館



外観

1986(昭和61)年に「詩の国、歌の島、踊りの里」といわれる八重山諸島の文化拠点として沖縄県石垣市に誕生した、島内唯一のホール施設。建築家前川國男が生前最後に手がけた作品のひとつでもある。



大ホール

1,000名以上の収容人員を誇る大ホール。市民会館は、民謡の島「石垣」にふさわしく、伝統芸能をはじめ八重山諸島の芸術文化鑑賞、創造、交流の拠点として、またアジア各地との文化交流の場としても活用されている。



大ホール トイレ入口

八重山伝統織物「みんさー織」をモチーフに、煉瓦の内装にあわせ赤色のデザインがあしらわれた入口。五つと四つの緋(かすり)柄が交互に配された模様には“いつの世までも、末永く”という思いが込められている。

大ホール
男性トイレ 全体

白を基調とした内装に、シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛ハイバック洗面器や自動洗浄小便器を設置し、整然とした清潔感ある空間となっている。

大ホール
男性トイレ
ひろびろブース

男性トイレの「ひろびろブース」には、お子様連れに配慮したアイテムだけでなく、L型手すりも備えることで、さまざまな身体状況の方に対応できるようになっている。

大ホール
女性トイレ 全体

公演時など集中利用が想定されることから、動線が交わらないようレイアウトを検討し、混雑緩和を図っている。大型一面鏡はブースの空き待ちの列からもチェックでき、プレススタイリングコーナーの役割も果たす。

大ホール
女性トイレ
ひろびろブース①

多機能トイレの利用集中を分散させるため、一般ブース内にベビシート、ベビチェアを完備した「ひろびろブース」を設けている。

大ホール
女性トイレ
ひろびろブース②

ベビチェアとフィッティングボードを備えた「ひろびろブース」。大便器は、コンパクト設計にこだわり、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置している。

大ホール
バリアフリートイレ

バリアフリートイレには、必要な器具がパッケージされたコンパクト多機能トイレパックを設置。視認性を高めるためあえて手すりは紺色としている。



大ホール 洋楽屋



出演前後に利用する控室。メイク前後にも快適に安心して洗顔行為ができる、幅500mmの掛ハイバック洗面器L135系を設置している。



大ホール 楽屋トイレ



改修後はシャワールームをなくし、トイレを充実整備。洗面コーナーは、光が顔全体に均一にあたるよう設計されたLED照明付鏡を設置し、1ヶ所には洗面器を設置せず、スタイリングコーナーとしている。



中ホール トイレ入口



大ホール同様、入口サインには八重山伝統織物、みんさー織をモチーフにした五つと四つの緋(かすり)柄が交互に配されたデザインを緑色であしらっている。

石垣市民会館



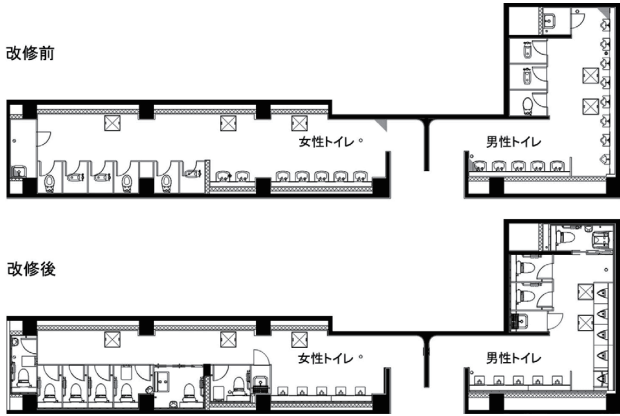
中ホール
男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーは自動水栓や水石けんを採用することで、節水・衛生面に配慮している。また、混雑しやすい場所でもあるため人流の滞留防止に効果ある大型一面鏡を採用している。



中ホール
男性トイレ
小便器コーナー

小便器コーナーには、小さなお子様連れに配慮して幼児用小便器を1ヶ所設けている。さらに、足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを設置している。



大ホール 1Fトイレ図面

和式便器を、すべて洋式便器に変更。既存配置を生かし、さまざまな利用者を想定した使いやすいレイアウトを検討。親子でも利用できるよう、ひろびろブースを男女トイレ共に設置している。



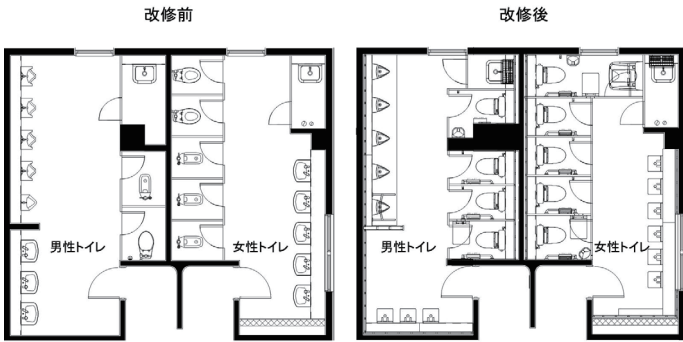
中ホール
男性トイレ 大便器ブース

お子様連れに配慮して、広めにしたブースには、ベビーチェア、フィッティングボードを設置。器具には、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し、省エネと機能性を確保している。



中ホール
女性トイレ 洗面コーナー

手洗だけでなく、スタイリングもできるように、奥行きがコンパクトで自動水栓・自動水石けん搭載の壁掛ハイバック洗面器を採用。メンテナンス性に配慮し、水石けんの残量もひと目で確認できるようになっている。



大ホール 2Fトイレ図面

和式便器を、すべて洋式便器に変更。男性トイレの大便器ブースは改修前より多く設置。さらに、女性トイレの洗面コーナーに、おひとり様用のスタイリングコーナーを設置している。



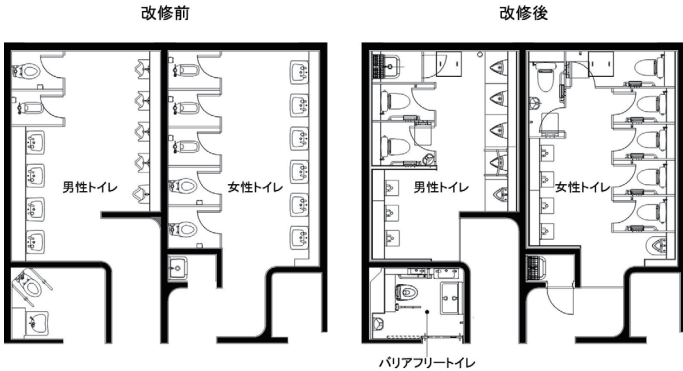
中ホール
女性トイレ
大便器ブース

改修前よりブース数を増やし、さらにブースの奥行きを広くとってゆとり感を創出。また、高齢者などさまざまな身体状況の方の使用に配慮して、手すりを全ブースに設置している。



中ホール
女性トイレ
キッズコーナー

女性トイレ内には、小さな男のお子様連れに配慮して、幼児用小便器を設置。正しい立ち位置に自然に誘導できるよう、かわいい動物のフットマークを施したハイドロセラ・フロアキッズを採用した。



中ホール 1Fトイレ図面

和式便器を、すべて洋式便器に変更。また、男女トイレともに親子で入室できるよう、ひろびろとしたブースを設置。さらに、女性トイレの入口に幼児用小便器を設置するなど、きめ細やかな配慮がなされている。

水まわりの特長

改修の経緯

沖縄県石垣市に、1986(昭和61)年、市民からの強い要望により誕生した市民会館。島内唯一の大規模な劇場ホールで、「詩の国、歌の島、踊りの里」といわれる八重山諸島の文化拠点である。建物は、建築家の前川國男が生前最後に手がけた作品のひとつで、前川國男設計による建築物としては日本最南端、かつ、沖縄県内で唯一のものである。1000名以上の収容人員を誇る大ホールは民謡の島「石垣」にふさわしく、伝統芸能をはじめとするさまざまな催し物を通し、芸術文化鑑賞、創造、交流の拠点として市民文化に寄与。さらに、アジア各地との文化交流の場としても活用されている。このたび築35年経過し老朽化が問題となったため、特徴あるレンガ造の外観を残して、空調・電気・衛生設備などの改修が実施された。

水まわりの特長

築35年経過したトイレは、老朽化に伴い配管トラブルなどが多発していた。改修計画では、利用者特性としてお子様連れ、高齢者、障がい者などさまざまな方の利用が想定されるため、ブース内設備を綿密に検討。男女トイレそれぞれに、ベビーシートやベビーチェア・フィッティングボードを備えたひろびろブースを設置するなど、お子様連れにも安心して利用できる機能を充実。さらに全ブースに手すりを設置するなどユニバーサルデザインの視点も重視された。改修後は、公演時の混雑緩和のためにブース数を増やすなど使い勝手を優先したトイレへと生まれ変わった。また、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し、快適性はもとより、環境や清掃性にも配慮されている。

建築概要

名称	石垣市民会館
所在地	沖縄県石垣市浜崎町1-1-2
施主	石垣市
設計	TOTOアクアエンジ株式会社
施工	TOTOアクアエンジ株式会社
竣工年月	(改修)2021年6月
敷地面積	15,782㎡
建築面積	5,741㎡
延床面積	6,636㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*系
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF552*系
チャームボックス(汚物入れ):YKB104
自動洗浄小便器:UFS900WR
ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
壁掛ハイバック洗面器:LS125DM、LS135DM
壁付自動水栓:TENA125AW
コンパクト多機能トイレバック:UADAY01L2A1ANN1BA
幼児用小便器:U310GW
ハイドロセラ・フロアキッズ:AB545KC
ベビーシート:YKA24系、YKA25系
ベビーチェア:YKA15系、YKA16系
フィッティングボード:YKA41系
フック:YKH22
LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80019
化粧鏡:YM4560A
パブリック手すり:T112CL9、T112CU2